

2024年(令和6年)

登録計装基幹技能者 新規認定講習

試験問題

2024年5月26日

AJII 一般社団法人 日本計装工業会

◆解答は、全て解答用紙に記入して下さい。

問題1

登録計装基幹技能者に関する次の記述のうち**期待されていない能力**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力を持っていること
2. 技術の進展等に的確に対応した知識を持っていること
3. 設計や見積等の施工以外における計装工事に関する能力を持っていること
4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力を持っていること

問題2

登録計装基幹技能者に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 建設業法では、監理技術者となるための要件の1つとなっている
2. 建設業法では、経営事項審査項目「Z1;技術職員数」加点評価の対象となる
3. 品確法では、総合評価落札方式における施工能力の評価の一例として、登録基幹技能者の活用が示された
4. 元請企業による、協力企業の登録基幹技能者を評価する制度が存在する

問題3

計装工事に関連する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 計装工事とは、計測制御機器、監視制御装置、これらの配管配線を工作物に設置、又は試験・調整を行い、計装システムを稼働させる工事である
2. フールプルーフとは、機械、設備に異常、故障等が起きた時、必ず安全な方向に向かうように設計されていることである
3. 爆発性雰囲気をしばしば生成する可能性がある、製品タンクの周囲に設置する機器の工事において、第一種危険箇所(ゾーン1)として防爆電気配線工事を行った
4. 無線計装を日本国内で使用する場合、技適マークのある機器を使用しなければならない

問題4

建設工事に関連する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 「建設・土木作業従事者」、「電気工事従事者」、「建設機械運転従事者」のいずれも平成7年以降、減少し続けている
2. 物的労働生産性は、次の式で表される
$$\text{物的労働生産性} = \frac{\text{労働投入量}}{\text{生産量}}$$
3. 衛星測位システムは、高層ビルが多い環境下では、衛星から発せられる電波はビルなどの障害物により阻害され、測位が正確に行えない場合がある
4. 写真測量とは、1つの被写体を複数方向から撮影した画像データから3次元形状を推定する技術であり、写真の特徴点を抽出して、撮影箇所を推定、3次元モデルの作成を行うものである

問題5

OJT (On the Job Training) 指導・教育の基本認識に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. OJTは上司の仕事そのものであり、片手間に行うものではない
2. OJTの目標設定は部下の能力レベルではなく、上司の能力レベルに合わせて定め、より高い目標を立てることが大切である
3. OJTの実施が業績低下の言い訳になってはならず、仕事とOJTの調和が必要である
4. OJTは部下が組織外の実態、考え方に触れ視野を拡大する機会を設けるように心がけることが望まれる

問題6

OJT (On the Job Training) 教育における目標に関する次の記述のうち**正しいもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 目標は、日常の仕事を通じて行う指導・教育が可能な項目であること
2. 目標は、部下の意欲よりも作業に大切なものを優先させるべきである
3. 目標は、大きく持つことが大切であり、定量的で具体的なものは目標が小さくなるため適さない
4. 目標は、設定期間終了時に評価する必要はなく、絶えず目標を持つように指導する

問題 7

「建設業法」に関する次の記述で、【 】に入る**正しい組み合わせ**はどれか、
選択肢からその番号を1つ選びなさい。

(建設工事の請負契約の原則)

建設工事の請負契約の当事者は、各々の【A】に基づいて【B】締結し、信義に従って【C】にこれを
履行しなければならない。

【選択肢】

1. A：対等な立場における合意 、 B：公正な契約を 、 C：誠実
2. A：社会的な理念 、 B：書面により契約を 、 C：誠実
3. A：対等な立場における合意 、 B：書面により契約を 、 C：確実
4. A：社会的な理念 、 B：公正な契約を 、 C：確実

問題 8

「建設業法」において、下請負人に見積を依頼する際に元請負人が最低限提示すべき事項、
に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 設計図書（数量などを含む）
2. 元請負人の代表者氏名
3. 下請工事の工程及び下請工事を含む工事の全体工程
4. 施工環境、施工制約に関する事項

問題 9

以下に示す図書の**記述が示しているもの**はどれか、選択肢からその番号を1つ選びなさい。

元請施工者が、発注者の要求品質や契約条件を施工の目標品質に展開して、具体的な計画や方針を
工事業者と調整し作成したものである。

【選択肢】

1. 設計図書
2. 施工計画書
3. 施工要領書
4. 作業手順書

問題 1 0

施工管理に必要とされる4大管理QCDSについて、アルファベットがあらわす内容に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. Q : 品質管理
2. C : 原価管理
3. D : 工程管理
4. S : 環境管理

問題 1 1

バーチャートに関する次の記述のうち**正しいもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

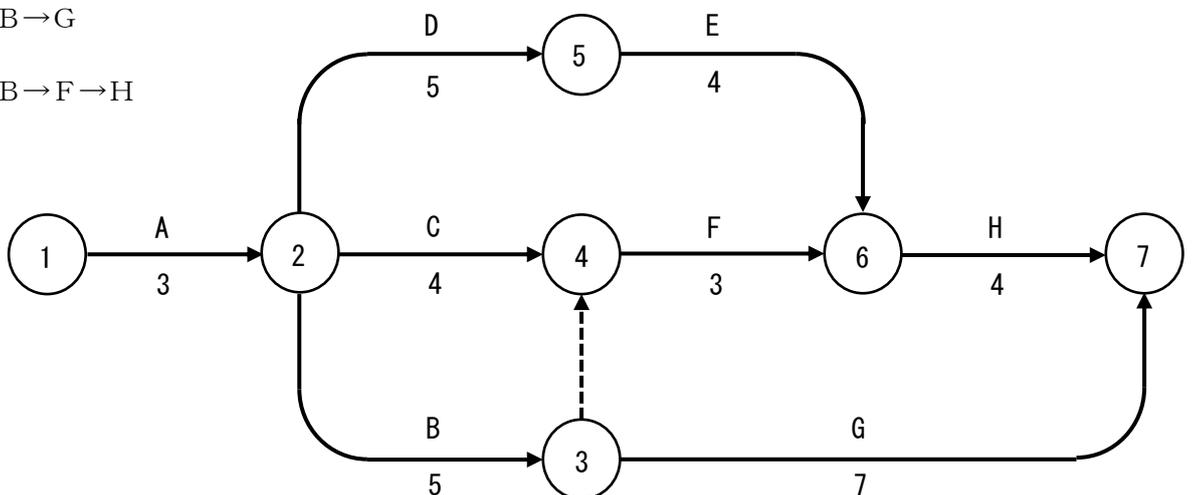
1. 横軸に各作業名列記し、縦軸に日数を記載したものである
2. 各作業の所要日数が不明瞭である
3. 各作業に着手日と終了日の間を横棒で結んで作業日程を表したものである
4. 工期に影響を与える作業が分かるものである

問題 1 2

以下のネットワーク式工程表のクリティカルパスに関する次の記述のうち**正しいもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. A→C→F→H
2. A→D→E→H
3. A→B→G
4. A→B→F→H



問題 1 3

登録計装基幹技能者に求められる「資材管理の目的」に関する次の記述で、
【 】に入る**正しい組み合わせ**はどれか、選択肢からその番号を1つ選びなさい。

資材の「【A】」や「【B】」を確保することでコストを抑え、工事全体の品質を向上させることも重要な目的である。

【選択肢】

1. A：十分な数量、B：作業のしやすさ
2. A：適切な数量、B：適切な品質
3. A：入手の容易さ、B：取り付けやすさ
4. A：現場のニーズ、B：客先指定の購買ルート

問題 1 4

登録計装基幹技能者に求められる「資材の現場管理」に関する次の記述のうち
正しくないものはどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 予め現場内の資材の搬出入管理者を定め、確実な在庫管理を心がける
2. 適時に資材の在庫の監査を行い、欠品や過剰在庫を特定し無駄を減らし、必要な資材が不足等ないように心がける
3. 長期保管及び温湿度管理等特別な保存条件のある資材においても、一般資材と同様に破損・汚損防止に注意して保管する
4. 資材の盗難や破損を防ぐために施錠管理等適切なセキュリティ対策を施す

問題 1 5

原価管理におけるコストダウンの方法に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 同じ性能を持つ他のメーカーの製品に変えることでコストダウンができないか検討する
2. 作業性の良い仮設を工夫して人工を削減し、コストダウンができないか検討する
3. 資材倉庫、作業員詰所は工事全体の工程を考え、可能な限り広く余裕をもって計画する
4. クレーン作業で一度に上げられるよう、治具やアタッチメントを工夫して効率を上げる

問題 1 6

見積り作成と見積原価の管理に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 現場条件、施工範囲などを検討し、条件に合わせた見積りをするのが大切である
2. 工事担当者は見積作成者が見積内容を把握しているため、特に理解の必要は生じない
3. 経費は直接工事費だけでなく、社会保険料等の会社経費も確保しなければならない
4. 契約した工事範囲を理解し、元請からの作業指示で行う契約外工事はそのことを説明しなければならない

問題 1 7

契約不適合に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 民法改正によりこれまでの「瑕疵担保責任」が「契約不適合責任」に改められた
2. 瑕疵も契約不適合も、建設物の欠陥を意味する法律上の用語とは異なる
3. 契約不適合責任、瑕疵担保責任は、法律で定められた欠陥に対する無償補修や賠償を行うことである
4. 契約不適合責任の担保期間として、改正民法は、注文者が不適合を知ったときから1年以内にその旨を請負人に通知しないと、原則として救済は受けられない

問題 1 8

以下の文章に**該当する語句**はどれか、選択肢からその番号を1つ選びなさい。

技能者のスキルや部材の強度、寸法などには必ずばらつきが生じる。それらをコントロールし、顧客や会社の要求条件を満たす品質を経済的に作り出すこと。

【選択肢】

1. 原価管理
2. 安全管理
3. 目的管理
4. 品質管理

問題 19

リスクアセスメントに関する次の記述のうち**正しいもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. リスクアセスメントは、各現場に共通する項目を拾い出して作成する
2. リスクアセスメントを実施していれば、KY活動は行わなくてもよい
3. リスクアセスメントの実施は、作業を始める前の計画段階から行う
4. リスクアセスメントは、災害発生の可能性と重大性を見積り、リスクの低い順から対策を立てる

問題 20

朝礼後の「安全ミーティング」時の実施事項に関する次の記述のうち**正しくないもの**はどれか、その番号を1つ選びなさい。

【選択肢】

1. 持場、加工場の清掃
2. 適正配置
3. KY 活動の実施
4. 健康状態の問い掛け